

Real Design

リアル・デザイン

モノ選びの基準は“機能”と“デザイン”で決まります。

October 2006
880yen **10**

No. **4**

2006年10月1日発行
第1巻第4号 / 通巻4号 (毎月一頁1日発行)
for tasty life
株式会社



黒しか選ばない。

**BLACK
DESIGN**

From Milano To Japan 世界で見つけたプロダクツ&カルチャー

MILANO

文・写真＝後藤司
text&photo: tsukasa goto

来年日本進出予定!
オープンキッチンスタイルレストラン
「teatro 7」

MILANOのイゾラ地区は、大規模な再開発予定地に隣接していることもありミラノの中でも特に注目の高まっているエリア。そこに「teatro7」という人気のレストランがある。リエイターが訪れるこのお店は、MILANOのレストランにしては珍しいオープンキッチンのつくり。店名であるteatro(劇場、芝居小屋)のとおり、キッチンでは調理風景や料理を魅せる空間になっている。ホールのつくりはいたってシンプル。装飾はほとんど見当たらず、壁にある花が唯一空間に彩りを添える演出としてひと役かっている。厨房機器はscholte's、コーヒーはLAVAZZA、コーヒーメーカーはBIALETTIというように、調理器具などにスポンサーがついているのも特徴的。来年中には「teatro7 東京」がオープン予定とのこと。このレストランの現在のシェフでもある鈴木勇吾さんが東京でメインシェフを勤めるのだとか。人懐っこいシェフがイタリア料理の“今”を提供してくれることだろう。

testro7 (テアトロ セッテ)
住所: 9, Via Civerchio 20159 Milano Italia
Tel: +39 02 6990 0702
www.testro7.com info@testro7.com



右) 全面ガラス張りのエントランス部分。右側が調理場になっていて、シェフが調理をする様子が丸見え。このオープンキッチンを使った料理教室も行なわれている。上) お邪魔した時は閉店間近にも関わらずお客さんで一杯



ランチタイムの「saboroso」(メイン・ランチ)は4品から2品選べる。コーヒー付きで12E



オーナーのBICO（右から2番目）メインシェフのCLAUDIO（左から2番目）、シェフのDAVIDE（中央）。FYOとYUGO（両サイド）ふたりは来年東京に「Teatro日本」を出店予定

2



上) この地区にはMOROSO、BOFFI、EDRAをはじめとしたインテリアショップやキッチンメーカーのショールームが多くある。写真はMOROSO。ロン・アラッドなどが多く製品を發表している。



ミラノのデザイン地域
“Brera 地区”をめぐる

“Brera 地区”をめぐる

MILANO といえばデザインと芸術の街として有名。そのふたつの要素が混じり合っている場所として知られているのが “Brera 地区” と呼ばれるこのエリア。周辺にはブレラ美術館に付属するブレラ大学があり、芸術を学ぶ学生たちが街が歩いていける。画材屋やギャラリーも多く、街を歩くだけでアートを感じさせてくれる一帯なのだ。MOROSO、EDRA、BOFFI といったイタリアを代表する家具やインテリアメーカーのショールームも多く、ミラノサローネの時にはフォーリーメイン地区のひとつとして賑わいをみせる。ほかにも、日本で人気の靴屋「IL BISONTE」など、日本でもよく知られるブランドショップが集まっている。また BAR も多くあり、昼夜問わずたくさんの人が飲んでいる姿が見受けられる。その中のひとつ「BAR JAMAICA」は、昔から多くのアーティストやデザイナーが集まることで有名。2階にはヒリアード台もあり、夜な夜なアートやデザイン論に花を咲かせているのだろう。